様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日 2025 年 1 月 14 日

１．職名・氏名　教授・大石善隆

２．学位　　学位　博士、専門分野　農学、授与機関　京都大学、授与年　2007 年 3 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 導入ゼミ（１）　１年生 ②内容・ねらい 大学生活を送るうえで重要になるスキル（レポート作成、プレゼンテーションの作成など）の向上をはかる。 ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 多角的に考える力を養うため、学生の間で意見を交換したり、議論したりする機会を設けた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 教養ゼミ（１）１年生 ②内容・ねらい 自らの考えを他人にわかりやすく説明するスキルを磨くことで、論理的思考力の向上を目指す。 ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 主体的に考える機会を増やすため、学生自らが「探求課題」を設定する機会を設けた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 コケの世界（２）１・２・３年生 ②内容・ねらい コケを一つの視点として、隣接する学問領域への知見を深める。また、身近な生物から自然や文化、環境問題を捉える感性を育む。 ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身がコケに触れる機会をつくるなどして、講義内容への興味や理解を深める工夫をした。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 生態学（２）１・２・３年生

② 内容・ねらい
この講義では主に植物に着目して、生物の環境適応や生き残り戦略、生態系のつながりなどについて紹介し、広く生態学について理解を深めていく。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
生態学だけでなく、それに関連する周辺分野の話題も取り入れることで、学生自身の興味を高める工夫をした。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
環境論（２）２・３・４年生

② 内容・ねらい
身のまわりにあるものを題材にして、環境の意義や環境問題について考えていく。また、気候風土などの環境と文化との関わりなどについても取り扱い、総合的な視点から環境について解説する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
技術や文明、環境問題を講義するだけでなく、それらが人類の将来やヒトの幸福感などにも及ぼす影響についても考える機会もつくり、多角的な視点から環境を考えられるようにした。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
学術ゼミ（環境学Ｇ・H）（２）２・３・４年生

②内容・ねらい
身近な自然・環境を題材にして、環境問題を新たな視点で捉えられるようになる。
レポート作成やディベート力など、アカデミックスキルを磨く。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生が主体的に取り組む課題を設定し、講義への積極的な関わりを増やすよう心掛けた。

(2)その他の教育活動

内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【0 本】

②学術論文（査読あり）

＊1. **Oishi, Y.** (2024) Bryophytes enhance nitrogen content in decaying wood via biological interactions. Ecosphere 15(1), e4755.

＊2. **Oishi, Y.** (2024) Additive positive effect of warming and elevated nitrogen deposition on Sphagnum biomass production at mid-latitudes. Scientific Reports 14(1), 16793.

＊3. **Oishi, Y.** (2024) Cryptogam biomass estimation using taxonomic and life form models for accurate assessment. Scientific Reports 14(1), 19038.

【３本】

③その他論文（査読なし）

【0 本】

④学会発表等

【0 件】

⑤その他の公表実績

メディア等への出演・協力

テレビ
2024 年 2 月 11 日：驚異の庭園 ～美を追い求める 庭師たちの四季～（NHK 総合）
2024 年 5 月 19 日：NoASOBI「コケよ あなたは美しい」.（NHK 総合）
2024 年 9 月 8 日：サイエンス ZERO 人類の未来を変える“吸収力” 小さなコケのミラクルパワー（NHK 総合）

【３件】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】基盤研究 C（代表）生態系におけるコケの窒素プール機能の評価：窒素負荷が増大すると何が起こるのか？

(3)特許等取得

(4)学会活動等

2024–2025 年 副編集幹事（日本蘚苔類学会）

５．地域・社会貢献活動

①国・地方公共団体等の委員会・審議会
2015–現在　希少野生動植物種保存推進員（環境省）

②国・地方公共団体等の調査受託等
2016–現在　宮内庁庭園（桂離宮・大宮仙洞御所庭園など）のコケ地整備指導（宮内庁）
2021–2024　コケ庭のモニタリング調査（京都府）

⑥公開講座、オープンカレッジなど

9 月 30 日　もののけの森のイメージ（福井県立大学）
11 月 30 日　コケにできないコケ生態（名城大学）
12 月 6 日　小さなコケの世界（JR 東日本 大人の休日倶楽部）
12 月 14 日　あなたの知らない「コケ」の生態（福井県立大学）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
情報教育・DX 委員会 病原微生物実験委員会 遺伝子組換え実験安全委員会 毒劇物管理委員会 予算委員会（学術教養センター内）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など